

2008

長月

9

すくらむ

西海市

社協だより

「はい、お昼ですよ」

ボランティア体験での食事配膳

(せいひデイサービスセンターにて)

疲れ癒す空間 大瀬戸の湯

大瀬戸社会福祉センター

午前10時、「お風呂どうぞー」の声が聞こえると、

すでに30分前から待っていたお客さんが次々とお風呂

に入っていきます。

長崎方面から板浦トンネルを抜けると、右手に大瀬戸社会福祉センターが見えてきます。昭和59



年から続くセーターの浴場は、5km先の原水を引いており、無色透明で湯冷めしにくく、神経痛にも効果があると言われています。肌にヌメリを与え、毎日入浴に訪れる多くの人から親しまれ、利用者の体と心を癒しています。



お風呂の後はマッサージ

施設に隣接する屋内ゲートボール場では、お風呂で汗を流して帰る人も多いようです。また、休憩室や気軽に利用できるマッサージルームを備え、1日ゆっくりと楽しめる施設です。

憩いの場所で ご湯づくり



隣接の屋内ゲートボール場





一瀬
サミさん
(大瀬戸)

社会福祉センターができた時から24年間ここにきています。お弁当を持ってきて2時まで社会福祉センターで過ごし、隣のデイサービスの部屋から聞こえる体操も一緒にしています。ここに来ると友達がいるので、ひとり家でいるより楽しいです。

■営業時間 10時～20時

■休業日 月曜日・祝日

8月14日～8月15日

12月29日～1月2日

■利用料

区 分	西海市民	西海市外の人
小学生・中学生・60歳以上・心身障がい者等	100円	300円
心身障がい児等	50円	150円
その他一般	210円	420円

※15人以上の団体で利用されるときは、2割引とします。

■施設概要 休憩室2部屋、マッサージ室、大広間、ゲートボール場

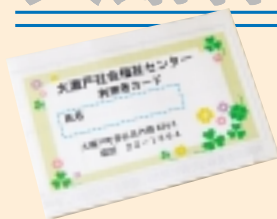
理事に辻川さん (西海町川内)

この度、西海市行政区長連絡協議会長が決定したのを受け、評議員会で、欠員中の社協理事に同氏が選任されました。

任期：平成21年8月31日まで
(敬称略)

理事	辻川 徳實	西海市行政区長連絡協議会長
----	-------	---------------

入館者は年間2万人



この大瀬戸社会福祉センターは、市からの指定管理で社協が運営しており、入館者は、市内外から年間2万人を超えます。10回利用すると1回無料で入浴できる利用者カードも魅力のひとつ。

笑いあり 語りあり

山口力蔵さん
(大瀬戸)



「病院に通院しない日は、ほとんどここに来るとよ」と利用者カードを見る山口さん。

「今日は、あの人は来て
いるかな」と友を探します。
日頃の疲れを癒し、心身とも
にリフレッシュ。「また会

いましょう」と元気になっ
て帰って行きます。そんな
大瀬戸社会福祉センターを
ぜひご利用ください。



入浴後にひと休み

社協では、8月6日から2日間、市内の小・中・高校生を対象にした福祉体験スクールを開き、33人の児童・生徒が参加しました。1日目はコロンビアで青年海外協力隊の経験のある「NPO法人 箱崎自由学舎ESPERRANZA」代表の小田哲也氏を招き、世界の現状や文化の話聞いたほか、車いすの操作などを体験。

2日目は市内の福祉施設



世界の現状や文化の話を聞く参加者

心揺さぶる体験

車いすの操作方法を学んだ福祉体験



で掃除や食事介助、入居者と歌を歌ったり、レクリエーションなどをしながら交流を深めました。西彼杵高校2年の平中紀美子さんは「人の笑顔はい

いな。福祉の仕事をしたいの、将来の夢に役立てたい」と話し、それぞれの参加者も心を揺さぶられる貴重な体験をしました。



緊張しながら食事介助する生徒

福祉施設で利用者と交流

有料広告

第4回 カラオケ発表会



エントリー料 3,000円

日時：平成20年10月5日（日曜日）

開会：午前9時00分

場所：西海市大島文化ホール

入場無料

主催：大崎カラオケ愛好会 代表：澤田 正
連絡先：山下良知（電話 34-3329）大島町
大村守正（電話 34-2898）
原田 親（電話 34-5300）

海区 福祉推進員と 西地 民生児童委員とが懇談会

「地区の寄り合いに來られない独居世帯などの情報を知らせてほしい」。西海地区の民生児童委員と福祉推進員との懇談会で、お互いの連携について先の意見などが交わされました。

7月31日、西海総合福祉センターで開いた懇談会には、福祉推進員22人、民生児童委員13人、社協職員24

人が参加し、地域の福祉課題について協議しました。

地域のことを互いに話し合える土壌づくりが、福祉風土づくりの第一歩になります。早速、9月から民生児童委員と福祉推進員が、小地域で定期的に集まり協議する予定です。



地域の課題を協議する懇談会の様子



親子でにぎわう大島児童館夏祭り

出店に 児童にぎわう

大島児童館 初の夏祭り

児童へ健全な遊び場を提供し、地域で開かれた子どもの居場所づくりをしている大島児童館。同館で初めての夏祭りを8月11日に開き、乳幼児や小学生とその保護者、地域の方が数多く集まりました。

ヨーヨー釣り、お化け屋敷、くじ引きなど祭りならではの出店7軒が、参加した親子たちを楽しませました。ずらりと列をつくったかき氷を手に「冷たい」「おいしい」と歓声を上げる子どもたち。同館の指導員らが手作りしたお化け屋敷に、子どもたちは「キャー」と甲高い声をあげていました。

歌の大好きな方へのプレゼント 速報

皆で唄おう

入場無料

躍進西海市



2008年 ふれあい歌謡祭

平成20年 9月21日(日) 開演 12:30
会場 大島農村勤労福祉センター
第一部 素人のど自慢大会～平成の名曲をたずねて～
第二部 歌謡教室講師による歌謡スクランブルショー



おなじみの顔が皆様を歌でお迎え致します。あなたの素晴らしい応援をお願い致します。来てネ!!



有料広告

主催 ふれあいセンター(総)歌謡事務局 〒857-2401 西海市大島町真砂1869番地 TEL 34-4043

施設での衛生管理 改めて徹底を

西海市福祉施設連絡協議会
は7月18日、福祉施設の
調理員自身が危機管理につ
いて学ぶことを目的に、西
海総合福祉センターで衛生
管理研修会を開きました。
市内福祉施設の調理関係
者47人が参加し、講師の西

彼保健所濱里俊彦氏が給食
施設における注意点などを
説明。
手洗いを徹底し、食中毒
の発生を防ぎ、福祉施設の
利用者へ安心・安全な食事
を提供する重要性が説かれ
ました。

衛生管理について話す濱田氏



市福祉施設協会で研究会



福祉施設職員に 広報紙づくりのコツ 手ほどき

また、広報紙づくりのコツを伝授する
同会主催の研修会が8月20日に開かれ、
福祉施設の広報担当者など13施設28人が
参加。講師に田崎洋・長崎新聞社NIE
推進委員を招き、記事を書くときの注意
点やレイアウトなど、読みやすい紙面づ
くりの基本を学びました。「敬語の使い
すぎに注意。見出しをつけて」とアドバ
イス。広報紙を持ち寄り個別指導しても
らう施設も。
参加したグループホームしおさいの立
花清美さんは「言葉遣いやレイアウトが
とても参考になった。施設での広報紙づ
くり役に役立つ」と意欲を語りました。

有料広告

フラワーギフト 花と緑のメンテナンス グリーンレンタル



花束・アレンジ、慶弔事の装花
ブライダルブーケ

ガーデンデザイン(設計・施工)
花苗、植木販売

株式会社 **グリーンメイク**

本社 西彼町下岳郷1877
佐世保支社 ハウステンボス町4-26

E-mail: agm@celery.ocn.ne.jp

TEL 0959-27-1058 FAX 0959-27-1299

TEL 0956-58-4737 FAX 0956-58-4738

生花直通 TEL/FAX 兼用 0956-58-5273

URL: http://www.GREENMAKE.co.jp

身障協

スポーツ教室を 開催しませんか？

県障害者スポーツ協会
からのお知らせ

当協会では障がい者スポーツをより多くの人達に体験していただくため、スポーツ教室を開いています。

そのためのフライングディスク、ユニカー、ボッチャなどのスポーツ用具を無料で貸し出しますので、希望者は事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先 電話29-4111（担当：吉田）



講師の説明に熱心にメモをとる参加者

療育

養護学校って

どんなところ？

療育を考える会は、7月26日、県立佐世保養護学校の戸羽義文先生を講師に迎え、養護学校の研修会を行い、会員15人が参加しました。

先生は「養護学校と普通学校の大きな違いは、障がいのことを専門に学んだ先生がいるか、

進学させる学校を決めるには、親が勉強をし、子どもの自立を最優先に考え、子どもと学校訪問を何度も重ねながら選んで欲しい」と訴えました。参加者は、「進学で悩んでいたのが参考になった」と大変喜んでいました。

福祉6団体 連絡協だより

西海市福祉団体連絡協議会
社協本所内 電話 29-4111



指導者の役割を熱心に聞く参加者



老連

老人クラブが 地域を変える！

市老人クラブ連合会は、8月6日、西保健福祉センターで指導者研修会を行い、会員85人が参加しました。

午前中は、西海市の基本構想や後期高齢者医療制度について、市保健福祉部長と長寿介護課長が説明。その後、「がんばらんば体操」で軽く体を動かし、午後からは長崎国際大学の山本主税教授が「老人クラブの活性化と指導者の役割」と題して講演。「老人クラブの意義や使命を再確認し、時代のニーズに合う活動が求められている」と訴えました。

母子会

西海市代表 長崎ぶらぶら節を舞う

長崎ぶらぶら節を披露する
西海市代表



7月27日、県母子寡婦福祉会は、ハウステンボスで50周年記念福祉研究大会を開き、市母子会からも34人の会員が参加しました。

式典後は、川村妙慶僧侶が「百倍楽しくなる仕事と人生」と題した講演を行い、「人生は一度。他人を認め、自分を認め、精一杯生きよう」と自らの経験を交え語りました。午後は、県下17支部によるアトラクションが行われ、西海市代表として、長崎ぶらぶら節を華麗に披露しました。

ご存じですか？

障がい者の総合窓口

〈相談支援センター〉

不安なこと、困りごとはありませんか。

障がい者の生活を支援する総合窓口の役割を担っているのが、西海市障害者相談支援センター。

地域で生活する障がい者やその家族に対して、各種サービスや専門機関の紹介、情報の提供などを総合

的に行っています。

地域における生活を支援し、在宅障がい者の自立と社会参加をお手伝いします。障がいのある方の生活に関するについて、電話・面接を通じて、総合的に相談に応じます。お気軽にご相談ください。

西海市障害者相談支援センター

受付日：月曜日～金曜日
受付時間：8時30分～17時30分
西海市西海町黒口郷1477番地1
西海市社会福祉協議会内
電話32-1922



無料法律相談

10月6日

要予約

弁護士による無料法律相談は、市内の方ならどなたでも相談が受けられます。予約は先着順で定員になり次第、締め切ります。

日時 平成20年10月6日(月) 13時～16時
場所 崎戸社会福祉センター
予約先 社協崎戸支所(電話35-3555)

守ろう子供の命

不要なチャイルドシート 募集

6歳未満の子どもは着用が義務付けられています。社協では家庭で不要になったチャイルドシートを回収し、無料で貸し出しています。不要になったチャイルドシートを社協へご提供ください。



「深い」。市内福祉施設の広報担当者が参加した広報紙づくり研修会で、福祉施設職員がふと洩らした。見出し、写真、レイアウト。広報紙づくりの奥深さは限りがない。

苦労もあるが、取材での出会いや読者からの反響が励みと力になり、担当者ならではの喜びをかみしめている。

研修会での講師の言葉、「広報紙づくりを通じて地域を結んで」。心して紙面をつくりたい。

編集後記

ご寄付・お礼

7/15～8/14 受付分

▽忌明寄付
社会福祉事業資金として次の方々から香典返しに代えてご寄付をいただきました。ご逝去された方々のご冥福を慎んでお祈りいたしますとともに、ご遺族様のご厚情に対しまして心より感謝申し上げます。

◆西彼町 博様 (故) 八太郎様

◆大島町 森 廣敏様(故) セヤ様
田川 キサ子様 (故) 利晴様

◆市川 要様(故) イネ様
澤田 野衛一様 (故) ヤスエ様
三岳 学様 (故) 棋四郎様

◆辻ミキエ様 (故) 秋次郎様
林 茂夫様(故) ナソ様
代田 ツタエ様 (故) 一美様

◆崎戸町 杉本喜代子様 (故) 武男様
橋本 美智代様 (故) 繁男様

◆長谷川 菊子様 (故) 岩本純人様
大瀬戸町 川添成行様(故) 正助様
上野 フミエ様

◆金子 秀子様 (故) 信雄様
高尾 竹次郎様 (故) サヨ様

◆出口政市様 (故) 勲様
村井 正光様(故) 末吉様

▽一般寄付
◆匿名希望

◆大島町 竹口 明様

▽指定寄付
◆おしまていサービスセンター
◆サチコ スミダ様